

磐田市

桶ヶ谷沼 ビジターセンター



第159号 2017年8月15日 だより

開館時間：午前9時～午後5時（月曜日：休館）

住所：438-0016 磐田市岩井 315 番地

電話：0538-39-3022 FAX:0538-39-3023



この夏、ビジターセンターでは **いろいろなイベント** かいさい が開催されました。暑い日が多かったですが、みな 皆さん楽しそうに参加してくれました。

① 魚類観察会



7月16日(日) 10:00～11:30 講師：野澤利治さん
野澤さんから採集の方法を教わると、子ども達は待ちかねたように川へ入って行きました。1時間もすると用意されたトレーには色々な魚が泳ぎ、採集は終了となりました。集められた魚は20種類ほど。その中から数種類をピックアップして生態などの説明があり、観察会が終わった後は桶ヶ谷川へもどされました。

② 夏のトンボ観察会

7月23日(日) 9:30～11:30 講師：細田所長
トンボの種類グループ分け、ヤゴの居場所、ベッコウトンボについてなど1時間ほどお話を聞いた後、野外観察に出かけました。観察場所のこしき塚ではチョウトンボが飛びかい、キイトンボやベニイトンボも数多く見られました。他にもウチワヤンマ・シオカラトンボ・コフキトンボなど12種類を確認することが出来ました。



③ いろいろな笛工作教室



8月6日(日) 9:30～11:30 講師：大橋美枝子さん
紙ホイッスル・ウグイス笛・ムクロジ笛・セミしぐれ・ブタ笛の5種類の笛を作りました。ムクロジ笛や紙ホイッスルは、作るの簡単で音を出すのが大変でした。ブタ笛は作るのも吹くのも簡単で「ブー、ブー」と音がでます。きれいな音の出るウグイス笛や、回すのが楽しいセミしぐれは完成後に子ども達が楽しそうに遊んでいました。

🌸 チョウと食草（しょくそう） 🌸 ～ ジャコウアゲハとキアゲハ ～

昆虫の幼虫こんちゅうが好んで食べる植物を食草しょくそうといいます。ビジターセンターの敷地内にはシロツメクサ(モンキチョウ)・カタバミ(ヤマトシジミ)など、チョウの食草となる植物が植えられていて、今の時期(8月初旬)だとウマノスズクサとフェンネルが花を咲かせています。



ウマノスズクサ

👉 ビオトープのトンボのモニュメントに巻き付いているウマノスズクサ。ジャコウアゲハの幼虫ようちゅうの食草しょくそうです。まだ葉がかじられた様子はありません。



ジャコウアゲハの幼虫



ジャコウアゲハの成虫



フェンネル

👉 フェンネルはキアゲハの幼虫ようちゅうの食草しょくそうです。体長数ミリの黒っぽい幼虫ようちゅうを見かけたと思ったら、数日後には4センチほどの大きさに育っていました。



キアゲハの幼虫



キアゲハの成虫

自然とのふれ合いを

※参加は無料です

申し込みはビジターセンターへ

《行事予定》

◎ 鳴く虫観察会

- * 日程 9月9日(土) 17:30~20:00 (受付 17:00~)
- * 場所 桶ヶ谷沼ビジターセンター視聴覚室と桶ヶ谷沼周辺
- * 対象 一般 (小学生以下は保護者同伴で)
- * 内容 桶ヶ谷沼のコオロギやキリギリスなど鳴く虫の学習をします
- * 持ち物 懐中電灯、野外活動の出来る服装

◎ アメリカザリガニ勉強会

- * 日程 9月17日(日) 9:30~11:30 (受付 9:00~)
- * 場所 桶ヶ谷沼ビジターセンター視聴覚室と桶ヶ谷沼周辺
- * 対象 一般 (小学生以下は保護者同伴で)
- * 内容 アメリカザリガニの生態を知り、日本で増えた原因を考えます
- * 持ち物 水筒、帽子、泥水に濡れてもよい服装、長靴